

令和6年4月30日 佐藤

～ 今年も、子どもたちならではの目線で、すみだの魅力を見つけ、発信します！ ～

7期目となる「すみだ子どもPR大使」10名を新たに任命

区では、子どもの感性や視点を通して、区の魅力を発信することで、シビックプライドの醸成を図り、地域の発展に関わる区民を増やし、自身の地域への愛着をさらに深めてもらうことをめざして、平成29年度から「すみだ子どもPR大使」を任命しており、この度、7期生を新たに任命しました。新たに任命したのは区内の小学3～5年生の10名で、継続する6期生11名とともに、区内のさまざまなイベントなどに参加し、魅力をPRする活動を行います。

4月27日（土）、墨田区役所（墨田区吾妻橋1-23-20）で子どもPR大使としての活動のポイントなどを学ぶ『伝える力をみがくワークショップ』と、任命式を実施しました。

ワークショップには、キャスターやラジオDJとしても活躍する大山 美佳さんを講師に招き、笑顔体操や発声の練習など、1年間PR大使としての活動に役立つ基礎を学びました。

まずは笑顔と発声の練習。用意された手持ち鏡を使って、講師からの「楽しいことを思い浮かべると、自然と笑顔になれる。相手の目を見て、笑顔で口を大きく開けてはきはき話すと、相手にもしっかりと気持ちが伝わる。」というアドバイスを実践しました。最初は緊張していた様子の大使たちも、徐々に大きな声で話せるように。その後は、「自己紹介」を行いました。2人1組で、相手の似顔絵を描き、お互いに今ハマっていることや墨田区の魅力についてインタビュー。その後、他のPR大使たちに向け、相手になりきって紹介しました。恥ずかしがりながらもみんなの前で発表するPR大使たちの初々しい姿が印象的でした。そして、PR大使として初めての仕事として、恒例の山本区長へのインタビュー。子どもたちが自分で考えた「お休みの日には何をしていますか？」「区長になったからこそやりたいことは何ですか？」などといった質問を投げかけました。

ワークショップの後には、7期生の任命式を行い、これからのPR大使としての活動について学んだ子どもたちに対し、区長から任命証の授与と、記念撮影を行いました。区長は「みんなと一緒にすみだの魅力をPRしていけるのが楽しみ。それだけではなく、すみだの子どもの代表として、子どもならではの意見もどんどん聞かせてほしい。」と激励しました。

新たに任命された子どもたちは、「いろんなことに挑戦したい。」「子どもPR大使の活動で墨田区をもっと盛り上げたい。」「思いっきり楽しんで活動したい。」「恥ずかしがらないで話せるようになりたい。」とこれからの活動に向けて意気込みました。7期生は、先輩大使の6期生とともに、今後、区のイベントなどに参加し、区の魅力や情報を発信していく予定です。今後の活動にご注目ください。

《写真》 ワークショップ



区長へのインタビュー



集合写真



《概要》すみだ子どもPR大使 (<https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/kouhoukatudou/kodomo-pr-taisi/gaiyou.html>)

すみだの魅力を幅広く発信する特命大使で、毎年4月に実施するワークショップの修了後に、区長から任命され、1年間、区のイベントなど、区の魅力のPRにつながる活動を行う。

対象：区内在住の小学3～6年生（令和6年度任期：令和7年3月末まで）

人数：21名（6期生：11名、7期生：10名）

《問合せ》企画経営室 広報広聴担当 03-5608-6220

お問い合わせは午後5時までにお願いします。